

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 9 月 22 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670500117号
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホームもぜ
所在地	鹿児島県いちき串木野市春日町24番地 (電話) 0996-32-3033
自己評価作成日	平成23年6月22日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年8月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

町内会に加入し、地域行事に参加したり、施設行事への参加の声掛けを行い、地域との連携を図っている。医療法人を母体として、同一法人の医療機関や老人保健施設、小規模多機能施設と合同で行事や研修を行い、サービスの質の向上に努めている。また、日常生活の中では入居者が何を求めているのかを職員が観察し、個々の特別の日(わがままデー)を作り、入居者の行きたい場所、やりたい事などを実施し、個別的なケアを行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

国道3号線から串木野市街地に向かう途中の住宅地に立地し、社会資源、交通、買い物と利便性に富んだグループホームである。1階は駐車場、2階・3階が居住部分になっているマンション型である。法人は他にも医療機関と介護老人保健施設、小規模多機能ホーム、居宅介護支援事業所を運営して、地域医療と高齢者福祉の一端をを担っている。
管理者・職員は利用者が毎日笑顔で過ごせるようなホームでありたいと日々のケアに邁進している。また、今年度からの取り組みとして、可能な限り、利用者の思いを叶えられるように「わがままデー」を設けて個別支援を充実させている。法人内の異動等もあり、現在、男性職員が多く、ホームのレクリエーションや個別支援に力を発揮している。また、利用者にとっては孫のような存在で、会話が優しく、利用者の表情も穏やかである。
「わがままデー」の定着とレクリエーションなど今後の取り組みが期待されるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をホール内の目に付く場所に掲げ、日々のケアを理念に沿った支援を心がけ、会議等でその人らしさを引き出せるように個別ケース検討を行っている。	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を、職員全員で話し合って作成し、ホールに掲示している。会議などで確認することもあり、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、回覧板や公民館行事に参加している。また、近くの店などにも買い物に出向き、顔見知りの関係を作っている。	利用者と共に地域の夏祭りに踊りで参加したり、敬老会への招待もある。ホームの餅つき大会には地域の子どもたちも参加している。また、中学生の職場体験学習の受け入れや小学校の子ども達との交流会も行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	公民館行事の夏祭りや敬老会などに参加し、季節の行事などには、町内会の方々へ声掛けを行い、交流を図っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	公民館長、公民館主事、民生委員、家族代表、行政職員の参加を得て、二ヶ月に一回、開催している。今後も運営推進会議を通じて、地域や家族の意見を取り入れてサービスの向上に繋げている。	公民館長、公民館主事、民生委員、家族代表、職員、行政等の参加を得て2ヶ月に1回開催している。ホームの状況報告や行事報告、また、地域の行事案内や情報などをもらえる機会でもある。避難訓練についての話し合いも行われている。会議で出された検討内容については職員全員で話し合い、次の会議で報告している。	

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問点などがある際は、市役所等へ相談している。担当者のアドバイス等は職員へも報告し、情報を共有している。	日頃より、連携を図り、協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の資料や情報を集め、介護等で定期的に身体拘束の勉強会を実施し、身体拘束についての理解を深めるように努めている。見守りや声掛けを徹底し、身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。	定期的に勉強会を行い、職員に意識付けを行っている。日中は施錠などせずに職員の連携と工夫により、安全で自由な生活を支援している。外出傾向の利用者には職員がさりげなく着いて行き、散歩やドライブで対処している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に対する勉強会を実施し、虐待の理解を深め、虐待防止の意識の向上に努めている。家族の介護相談などにも傾聴し、助言を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修への参加を行い、知識を深めている。権利擁護に関するマニュアル作成も行っている。		

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談、入居、解約、改定時には家族やキーパーソンへの説明を十分に行っている。不明な点等があれば、管理者等が個別に説明し、理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者に対しては、個々で話を聴くなどして、意見・要望を聴き、職員間や家族等に相談し、改善を図っている。家族には、面会時等、できるだけ話せる雰囲気作りを心掛けている。また、施設内に意見箱を設置しており、入居者、家族等の意見が聴けるようにしている。	日常の面会時や電話連絡時、また、毎月の利用料支払い時を職員、管理者が話をする機会としている。また家族から意見、要望を聞き出すようにしている。毎年、約半数参加の家族交流会もあり、打ち解けた雰囲気家族の率直な声を聞くことができる。また、同時にアンケートも実施している。出された意見、要望については職員全員で話し合っ運営に反映させている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りや全体会議・フロア会議等で意見を検討し、解決を図っている。解決困難な意見等は幹部会等で発表し、法人全体で考え解決に努めている。	職員間で共有すべき内容については申し送りノートの活用や、朝夕の申し送りを利用して利用者の情報の共有を図り、職員の意見なども出せるようにしている。また、毎月、全体会議とフロア会議を行って、利用者のケアや運営についての話し合いが行われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表や各種届出書などで、勤務状況を把握している。また、年に数回、職員の慰労を兼ねて法人内で親睦会や勉強会を兼ねた食事会を行っている。		

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や勉強会を行っており、交代で参加できるように配慮し、職員のスキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会に加盟し、同地域のグループホームの研修に参加し、質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居申し込み時、本人・家族からアセスメントを行い、全職員が入居者を把握し、信頼関係を築く努力をしている。入居の際、多くの声掛けを行い、本人の思いに添えられるように心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時、細部に十分に説明を行い、入居後も、話し合いの場を設けている。また、面会時など入居者の様子などを伝え、ご家族のと信頼関係を築けるように心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族、職員間、連携機関と十分な話し合いの上、今どのような対応が必要なのか、検討し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活をする中で、色々な事を教えて頂き、ご本人が出来る事を行って頂いている。常に声掛けを行い、喜怒哀楽を表出できる関係づくりを努めている。		

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人にもご家族にも安心して、いつでも会いに来れる雰囲気を作り、思っていること、悩んでいる事を伝えて頂き、共に支えていく関係を築く努力を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の家や買い物、墓参り等の外出を行ったり、親戚、知人が来訪して頂けるように努めている。	友人・知人の訪問や、デイサービスを利用している家族や友人に会えるように配慮するなど、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	四季の行事やレクリエーション、外出を活用してコミュニケーションが図れるように努めている。また、ホール内でも入居者同士が話ができるように席の配置を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院などの場合は職員がお見舞いに伺っている。また、亡くなられた時は、通夜や葬式への参列を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各入居者に担当職員を決め、入居者自身の暮らしぶり、希望や意向を把握し、出来るだけ要望に添えるように努めている。	会話の中から思いや意向を把握し、本人本位に検討している。困難な場合は表情、言動などから把握するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員は入居者のフェイスシートを読んだり、本人、ご家族の情報、サービスの経過などで把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの生活状態を大事にしながら、また新しい事にも馴染んで頂けるように心身状況を見極めながら、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	フローア会議、担当者会議等で本人、ご家族の意見や職員間で出された様々な意見やアイデアを介護計画に反映している。	生活歴を踏まえ、できることの継続のため、個別リハビリなどをサービスに取り入れている。また、モニタリングを3ヶ月毎に行って、見直しに活かし、現状に即した介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に生活・介護記録に日々の様子や気づき等を記入しており、また特変のあった入居者については、申し送りを密にし、情報を共有しながら、ケアに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者の急変時に対しては掛かり付け医などに受診し、行事やレクリエーションなどは協力機関と連携し、柔軟な支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の子供からお年寄りの方々まで関わりが持てるように公民館行事やもぜの行事に参加して頂けるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と連絡を取りながら、適切な医療が受けられるように取り組んでいる。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。また、本人、家族の状況に応じて、受診同行を行うなど柔軟に対応している。受診後は随時、家族に報告している。	

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体病院の看護師へ、24時間常に連絡が取れる体制が出来ており、必要時には電話での相談も可能である。個々の入居者が適切な看護や受診などが受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入居者が入院した際には、安心して過ごせるように本人やご家族の要望を聞く。また、入院した病院関係者には、今までの生活状況をご家族の了承を得て、サマリーで速やかに提出し、その後も病院に出向き、情報交換や状態把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から本人やご家族から希望を伺い、意志やOT等と連絡を取りながら、全職員で方針を共有する。施設内で出来ることを説明し、本人や家族の希望を取り入れて、より良い支援が出来るように取り組んでいる。	重度化や終末期に向けたホームの指針を、職員全員で話し合って作成している。利用者の身体状況に応じて、家族と話し合い、同意書を作成している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者の急変時や事故発生時に備えて、緊急マニュアルを作成している。AEDの実施訓練なども取り組んでいる。		

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を実施している。緊急連絡網の中にも地域の方々に入って頂き、協力体制を築いている。また、災害時に備え、非常食やその他の物資も準備している。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。消火訓練や車イス利用者の避難誘導について疑似体験も行って、現実的な訓練も行っている。運営推進会議でも議題として取り上げ、参加者から助言をもらうなどしている。</p>	<p>建物の構造上、2・3階が居室のため、特に夜間帯は多くの協力を確保できるように、利用者及び職員の家族、法人の職員などにも呼び掛けて協力体制の強化を期待したい。</p>

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は、入居者の方々一人一人に対して、尊厳に配慮した言葉かけと接し方で気持ち良く過ごして頂けるように努めている。	定期的に研修も行って、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。職員の声かけや接し方に配慮が感じられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の方が今、何を望んでおられるのか日常生活のなかで職員が築いたことを記録し、申し送り等で情報の共有を図り、相互関係を深めながら、自己決定を引き出す努力をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員が入居者一人一人のペースに合わせて、見守りや意見を大事にし、無理をせず、本人の希望に添えるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者の行きつけの美容院にお連れしたり、同じ町内の美容院の方に訪問してもらい本人の希望に沿ってカットされている。また、着替えは本人に選んで頂けるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや味付け、形態等を工夫し、入居者と職員が同じテーブルで食事をしている。個々の入居者で出来る範囲で野菜の下ごしらえやお盆拭きを一緒にして頂いている。	家庭菜園でできた野菜の収穫を楽しんだり、煮物の味見やつわの調理方法、あくまきやかからん団子の作り方などを利用者に教わりながら行っている。ときには、外出に出かけたり、家族交流会時は家族と共に飲食を楽しんだりしている。	

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各入居者の食事・水分摂取量を記録表に記載し、また個々の状態に応じて食事携帯を刻み・ペースト状にしている。2ヶ月に1回体重測定を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず声掛けを行い、個々にあった対応で口腔ケアの支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を作成しており、個々の排泄パターン・リズムを把握し、声掛け、誘導を行い自立に向けた支援に取り組んでいる。	おむつは使用しない方針でトイレでの排せつを支援している。身体状況に応じて、夜間のみポータブルトイレを使用している利用者もいる。また、自立している利用者は、継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	各入居者の便秘について食事内容や水分摂取量を多く摂取してもらえるように工夫したり、運動量にも注意して予防に努めている。		

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の声掛けのバイタルや様子を見ながら行っている。また入浴中に話をしたり、浴槽に長湯を好まれる方は体調を伺いながら希望に添うように入浴を楽しんで頂いている。	希望があれば毎日の入浴も可能で、個々に応じた入浴の支援を行っている。自立している利用者もあり、職員の見守り介助で安心して入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜問わず、居室で休みたい時に自由に休んで頂き、安心して安眠・休息して頂けるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報提供書を保管し、個々の服薬内容を把握し、確実な服薬支援に務めるため、服薬前に職員間で確認を行っている。臨時薬処方時は申し送りノート等確実に行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で出来ることを手伝ってもらい、役割を感じて頂けるように支援している。また、気分転換に歌や踊り、天気の良い日は外気浴や散歩等を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人が希望されたら出来るだけ希望に添えるように外出に付き添い、喜んで頂けるように努めている。また、地域の行事に公民館長さん等から情報を頂き、早めに計画を立てて、参加出来るように支援している。	日常的には散歩、買い物同行などで戸外に出かけられるように支援している。また、お弁当持参での季節の花見や、外食（ソーメン流し、そば屋等）、初詣、ホテル見学、地域行事、小学校の交流会などに出かけ、できるだけ、ホームに閉じこもらない生活を支援している。	

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者の力量に応じて、金銭管理や本人が買いたい物があるときに使用できるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話希望される時は職員が家族へ電話をかけ、ゆっくり会話して頂いている。またご家族に出す年賀状は書ける方には書いて頂き、書けない方はスタンプを押して頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールには入居者にとって不快体混乱を招くような（音・光・色・温度）等に配慮し、季節感を感じられるように花や飾り付けを行い、居心地よく過ごせるように環境作りを行っている。</p>	<p>共用空間のリビングには、外出時やレクリエーションの際の楽しそうな表情の利用者の写真が、ところどころに貼られている。ソファも利用者が選択できるように数か所に置かれ、それぞれ思い思いの場所で過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにはソファやテーブル席があり、テレビを観たり、音楽を聴いたり入居者思い思いの場所で過ごして頂けるように工夫している。</p>		

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人の使い慣れた物品等を持ちこんで頂き、希望や状態に合わせて、ベッドから畳を使用し、安心して居心地良く過ごせるように支援している。	ダンス、椅子、ベッド、扇風機、寝具、家族の写真などが持ち込まれ居心地良く過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室を間違えないように居室の前には、表札を掛けている。一人一人の力量に応じて、自立した生活が送れるように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームもぜ 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない